

作業療法士学科(夜間部)

系 列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	DP1	DP2	DP3
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基 礎 分 野	科学的 思考の 基盤・人 間と生活 ・社会の 理解	コミュニケーション論 Communication theory	必修	演習	15	(1)	15								患者・利用者等との良好な人間関係の構築のために作業療法士として必要な人間関係のあり方について学ぶ。	○	◎	○
		情報処理Ⅰ information processingⅠ	〃	〃	30	(2)	30								作業療法士として必要なコンピュータの基本操作、Word操作法の基礎を学ぶ。	△	◎	△
		情報処理Ⅱ information processingⅡ	〃	〃	30	(2)		30							作業療法士として必要なExcel、PowerPointの基本的操作法を学び、作業療法実践に役立てる。	△	◎	△
		倫理学 Ethics	〃	講義	15	(1)		15							医療を中心とする道徳的判断の対象、義務についての意思の自由と責任について、生命倫理を中心に学ぶ。	○	◎	△
		文章表現 Writing	〃	〃	30	(2)		30							作業療法士として必要となるレポート作成に関わる論理的思考力を高めるとともに基本的な文章表現能力を学ぶ。	○	◎	
		キャリア教育 Career education	〃	演習	15	(1)		15							他職種との演習・先輩からの話をもとに職業理解・意識を高め、作業療法士としての在りかたについて学ぶ。		◎	○
		心理学 Psychology	〃	講義	30	(2)			30						自己や他者の心の世界を知り、自己分析や自己の治療的利用、患者とのより良い人間関係構築のための手法を理解する。	○	◎	
		レクリエーション概論 Compendium of Therapeutic Recreation	〃	〃	30	(2)			30						作業療法士に必要な集団療法としてのレクリエーションの基本概念を学ぶ。		◎	○
		国際教育学 International Education	〃	〃	15	(1)				15					作業療法士に必要な解剖学・運動学、リハビリテーションに関連する英単語、略語、英文解釈について学ぶ。	○	◎	△
専 門 基 礎 分 野	人体の 構造と機 能及び心 身の発達	解剖生理学Ⅰ Dissection PhysiologyⅠ	必修	講義	30	(2)	30								人体の解剖・生理学的理解を基に、主として骨解剖について学ぶ。	◎		
		解剖生理学Ⅱ Dissection PhysiologyⅡ	〃	〃	30	(2)	30								人体の解剖・生理学的理解を基に、主として筋解剖について学ぶ。	◎		
		解剖生理学Ⅲ Dissection PhysiologyⅢ	〃	〃	30	(2)	30								人体の解剖・生理学的理解を基に、主として神経細胞、筋生理について学ぶ。	◎		
		解剖生理学Ⅳ Dissection PhysiologyⅣ	〃	〃	30	(2)	30								人体の解剖・生理学的理解を基に、感覚器、内分泌生理について学ぶ。	◎		
		解剖生理学Ⅴ Dissection PhysiologyⅤ	〃	〃	30	(2)		30							人体の解剖・生理学的理解を基に、主として内臓器解剖について学ぶ。	◎		
		解剖生理学Ⅵ Dissection PhysiologyⅥ	〃	〃	30	(2)		30							人体の解剖・生理学的理解を基に、主として神経解剖について学ぶ。	◎		
		解剖生理学Ⅶ Dissection PhysiologyⅦ	〃	〃	30	(2)		30							人体の解剖・生理学的理解を基に、主として循環器生理について学ぶ。	◎		

作業療法士学科(夜間部)

系 列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	DP1	DP2	DP3
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専 門 基 礎 分 野	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 心 身 の 発 達	機能解剖学 Functional Anatomy	必修	演習	30	(2)				30					上肢を中心とした、人体の運動機能を、解剖学の筋の作用等を学ぶことで理解を深める。	◎		
		人間発達学 Human Development	〃	講義	30	(2)			30						人間に対する理解の基礎とし、各段階における身体と運動機能の発達、知的・心理的・社会的発達、人格の発達を学ぶ。	◎		△
		運動学 Kinematics	〃	〃	30	(2)			30						人体の解剖・生理学的理解を基に、人体の運動器の正常運動特性について学ぶ。	◎		
		運動学実習 Kinematics Practice	〃	実習	30	(1)					30				運動学で学んだ正常運動の特性を基に動作分析の視点からヒトの運動学的理解を習得する。	◎		
	疾 病 と 障 害 の 成 り 立 ち 及 び 回 復 過 程 の 促 進	医学総論 Medical introduction	〃	講義	30	(2)	30								栄養・救急救命・予防の基礎の観点からヒトの健康について学ぶ。	◎		
		一般臨床医学 General clinical medicine	〃	〃	30	(2)			30						病理学・臨床薬理学の基礎について学び、生体の病的障害の原因、成立過程、薬物の人体への影響に関する知識を習得する。	◎		
		臨床心理学 Clinical Psychology	〃	〃	30	(2)				30					臨床心理学の対象と方法、心理機能の異常、心理的適応、心理療法、カウンセリングの理論と技法等を学ぶ。	○	◎	
		内科学 Internal Medicine	〃	〃	30	(2)				30					臨床医学の面から基礎的医学知識を整理し、各臓器・組織系統の疾患や、病因、診断、治療についての概要を学ぶ。	◎		
		神経内科学 Neurological Internal Medicine	〃	〃	30	(2)				30					神経症候学、神経内科、脳神経外科領域でみられる疾患・障害の基礎的知識について学ぶ。	◎		
		整形外科学 Orthopedic	〃	〃	30	(2)				30					外科系臨床医学で、骨・関節・筋・靱帯・末梢神経等、運動器疾患を扱う分野の各病態、診断や治療、予後等の概要を学ぶ。	◎		
		小児科学 Pediatrics	〃	〃	30	(2)				30					小児の成長・発達と小児によくみられる各種疾患などの基礎的特異性を学ぶ。	◎		
		精神医学 Psychiatric Medicine	〃	〃	30	(2)			30						行動観察と症状の把握、治療者と患者の心理的關係など多角的側面から精神疾患について理解する。	◎		
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン と 理 念	リハビリテーション概論 Compendium of Rehabilitation	〃	〃	30	(2)	30								リハビリテーションの定義、歴史、目的をはじめ、チームアプローチの在り方、対象者理解、職業理解を進める。	◎		○
		リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	〃	〃	30	(2)			30						リハビリテーションの対象となる主たる疾患の理解とリハビリテーション介入の基本について学ぶ。	◎		
		職業関連技術論 Job-related Skill	〃	〃	15	(1)							15		就労支援のための職業前評価・訓練について学ぶ。	◎		○

作業療法士学科(夜間部)

系 列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	DP1	DP2	DP3
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専 門 分 野	基礎 作業 療法 学	作業療法概論Ⅰ Compendium of Occupational Therapy Ⅰ	必修	演習	30	(2)		30							作業療法の基本的理解及び実践に向けて、基本的知識・思考力、実践能力及び態度を身につける。	○	○	◎
		作業療法概論Ⅱ Compendium of Occupational Therapy Ⅱ	〃	〃	30	(2)			30						作業療法の理論、管理運営、研究、倫理的理解及び作業療法実践に向けて、基本的知識・思考力、実践能力及び態度を身につける。	○	○	◎
		作業療法概論Ⅲ Compendium of Occupational Therapy Ⅲ	〃	〃	15	(1)				15					臨床事例を用い、作業療法の実践的側面の理解を深める。	○		◎
		基礎作業療法実習 Basic Occupational Therapy Practice	〃	実習	30	(1)			30						作業療法の治療手段としての様々な作業活動を通して、基礎的知識・技術を習得し、治療的応用を身につける。	○		◎
		基礎作業療法学 Basic Occupational Therapy	〃	講義	30	(2)				30					学問としての作業治療学成立の歴史的背景や構造などの基礎知識と作業分析や指導法などの基礎技法を学ぶ。	○		◎
		作業療法研究法Ⅰ Occupational Therapy Research Method Ⅰ	〃	〃	30	(2)						30			卒業論文作成に向けて研究の必要性、研究デザインの考え方を学び、研究計画書の作成を行う。	○	○	◎
		作業療法研究法Ⅱ Occupational Therapy Research Method Ⅱ	〃	〃	30	(2)							30		研究計画書を基に実験、データの収集、集計、処理及び結果の解釈を経て、論文作成、発表を行う。	○	○	◎
	作業 療法 学	作業療法管理学 Management of Occupational Therapy	〃	〃	30	(2)					30				各種保険制度を学ぶ。また、職場管理、作業療法教育における後輩指導など作業療法士としての職業倫理を高める。		◎	
	作業 療法 評価 学	作業療法評価学実習Ⅰ Evaluation Studies Practice I	〃	実習	30	(1)		30							作業療法評価の基本的概念の理解及び主に関節可動域測定・徒手筋力検査を解剖生理学の知識と結びつけ理解を深める。	◎		
		作業療法評価学実習Ⅱ Evaluation Studies Practice Ⅱ	〃	〃	30	(1)					30				面接法・観察法及び形態測定、バイタルサイン、感覚検査など作業療法評価に必要な技術を学ぶ。	◎		
		作業療法評価学実習Ⅲ Evaluation Studies Practice Ⅲ	〃	〃	60	(2)						60			作業療法評価学及び作業療法評価学実習Ⅰ～Ⅱで学んだ知識・技術・態度を統合し、実践で求められる評価能力を学ぶ。	○	◎	○
		作業療法評価学演習 Evaluation Studies	〃	演習	30	(2)				30					歩行動画や画像情報をもとにした演習を通じ、生活行為の問題となる原因を評価できる技術を学ぶ。	◎		
		作業療法評価学 Evaluation Studies	〃	〃	30	(2)					30				作業療法評価の実践のため、評価計画立案、統合と解釈、治療計画立案など演習を通じて学ぶ。	◎		○
	作業 療法 治療 学	高次脳機能障害治療学 Occupational Therapy for Cognitive Dysfunction	〃	講義	30	(2)					30				中枢疾患に重要な高次脳機能の概念や評価、治療の基本を習得する。	◎		○
		老年期障害治療学 Occupational Therapy for Elderly Disabled	〃	〃	30	(2)					30				老年期の特性を知り、老年期を迎える対象者への作業療法治療を習得する。	◎		○
		身体障害治療学Ⅰ Occupational Therapy for Physically Disabled Ⅰ	〃	〃	30	(2)						30			主に中枢疾患などの身体障害に対する作業療法評価、治療を習得する。	◎		○

作業療法士学科(夜間部)

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	DP1	DP2	DP3
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門分野	作業療法治療学	身体障害治療学Ⅱ Occupational Therapy for Physically Disabled Ⅱ	必修	講義	30	(2)						30			主に整形外科疾患、難病などの身体障害に対する作業療法評価、治療を習得する。	◎		○
		精神障害治療学Ⅰ Occupational Therapy for Mentally Disabled I	〃	〃	30	(2)					30				精神疾患における作業療法評価法、治療法の基本的な考え方について習得する。	◎		○
		精神障害治療学Ⅱ Occupational Therapy for Mentally Disabled Ⅱ	〃	〃	30	(2)					30				各精神疾患に対する具体的な評価、治療方法について実践的に学ぶ。	◎		○
		発達障害治療学 Occupational Therapy for Developmental Disability	〃	〃	30	(2)					30				発達障害に対する作業療法治療を習得する。	◎		○
		日常生活活動学 Activities of Daily Living	〃	演習	30	(2)					30				対象者に発生する日常生活活動の問題や課題に対する分析力を習得する。	◎		○
		作業療法技術論 Occupational Therapy Technology	〃	講義	30	(2)					30				代償機能・適応機能の基礎知識・技術として、義肢装具、リハビリテーション関連機器や家屋改造、日常生活活動を学ぶ。	○		◎
		作業療法総合実習 Occupational Therapy Comprehensive Practice	〃	実習	30	(1)						30			臨床実践に対応すべく実践的な能力について学内実習を通じて総合的に学ぶ。	◎		○
		作業療法特論 Special Lecture	〃	講義	30	(2)							30		最近の情勢の変化に対応すべく先進的な実践の学習及び臨床実習・国家試験に対応する実践的学習を行う。	○		◎
		作業療法総合演習Ⅰ Occupational Therapy Integrated Study I	〃	演習	30	(2)	30								少人数ゼミ形式などを利用し、生活習慣・学習習慣の確立を目指す、主体的学習態度の育成を目指す。	○	◎	○
		作業療法総合演習Ⅱ Occupational Therapy Integrated Study II	〃	〃	30	(2)			30						少人数ゼミ形式などを利用し、自己の客観的理解、主体的学習態度の育成を目指す。	○	◎	○
		作業療法総合演習Ⅲ Occupational Therapy Integrated Study III	〃	〃	30	(2)					30				少人数ゼミ形式などを利用し、後輩育成を通じて、主体的学習態度の育成を目指す。	○	◎	○
	地域作業療法学	地域作業療法学 Occupational Therapy for Community	〃	講義	30	(2)					30				地域における作業療法の理解を深め、地域作業療法実践の基盤を築く。	◎		○
		地域医療論 Regional Medicine	〃	〃	30	(2)							30		地域医療の法的理解、地域医療のシステム理解、実践例を通じて地域医療の理解を深める。	○		◎
	臨床実習	見学実習 Educational Visit	〃	実習	90	(2)			90						実習指導者の下で作業療法場面を見学し、対人援助職としての基礎能力及び作業療法の基礎的知識・技術・態度について学ぶ。	○	◎	○
		地域実習 Regional training	〃	〃	45	(1)					45				実際の現場において地域医療における作業療法士に求められる役割や地域包括ケアシステムについて学ぶ。	○	◎	○
		評価実習 Evaluation training	〃	〃	225	(5)						225			実際の現場にて指導者の指導の下、症例を担当し、評価計画の立案、評価の実施を行い、治療計画立案までを行う。	◎	○	○
		総合臨床実習 Integrated Bed Side Learning	〃	〃	900	(20)							450	450	実際の現場にて指導者の指導の下、症例を担当し、評価・治療実施を行い、作業療法を総合的かつ実践的に学ぶ。	○	○	◎

作業療法士学科(夜間部)

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	DP1	DP2	DP3
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門分野	その他	国家試験演習Ⅰ Seminar for National ExaminationⅠ	必修	演習	30	(2)		30							国家試験受験に向けて学習習慣、学習方法の確立を目指す。	◎		
		国家試験演習Ⅱ Seminar for National ExaminationⅡ	〃	〃	30	(2)				30					国家試験受験に向けて、ノート作成、協同学習の仕方など実践的な学習方法を身につける。	◎		
		国家試験演習Ⅲ Seminar for National ExaminationⅢ	〃	〃	30	(2)						30			国家試験受験に向けて、問題演習などを行い、基礎科目・専門基礎科目と専門科目を結びつけて理解を深める。	◎		
		国家試験演習Ⅳ Seminar for National ExaminationⅣ	〃	〃	30	(2)							30		これまでの総復習を行い、国家試験合格に向けて出題の傾向と対策を分析し、実力の向上を図る。	◎		
		国家試験演習Ⅴ Seminar for National ExaminationⅤ	〃	〃	90	(6)								90	これまでの総復習を行い、国家試験合格に向けて出題の傾向と対策を分析し、実力の向上を図る。	◎		
その他	選択分野	国際医療福祉 International Medical Welfare	選択	実習	30	(1)							30		異文化に触れることで、医療・福祉の現状、技術について学び、今後の作業療法士のあるべき姿についての思考を深める。	○	◎	○
		福祉住環境論Ⅰ Science of Welfare Residential EnvironmentⅠ	〃	講義	30	(2)						30			在宅における生活障害に対し、住環境的側面からの作業療法アプローチの視点を習得する。			◎
		福祉住環境論Ⅱ Science of Welfare Residential EnvironmentⅡ	〃	〃	30	(2)							30		在宅における生活障害に対し、住環境的側面からの作業療法アプローチの視点を習得する。			◎
総時間数					3300	(156)	255	270	390	300	375	525	615	570				